

報告事項キ

平成21年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について

平成21年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について、別紙のとおり報告します。

平成22年7月27日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成21年度鳥取県立高等学校不登校生徒の状況について

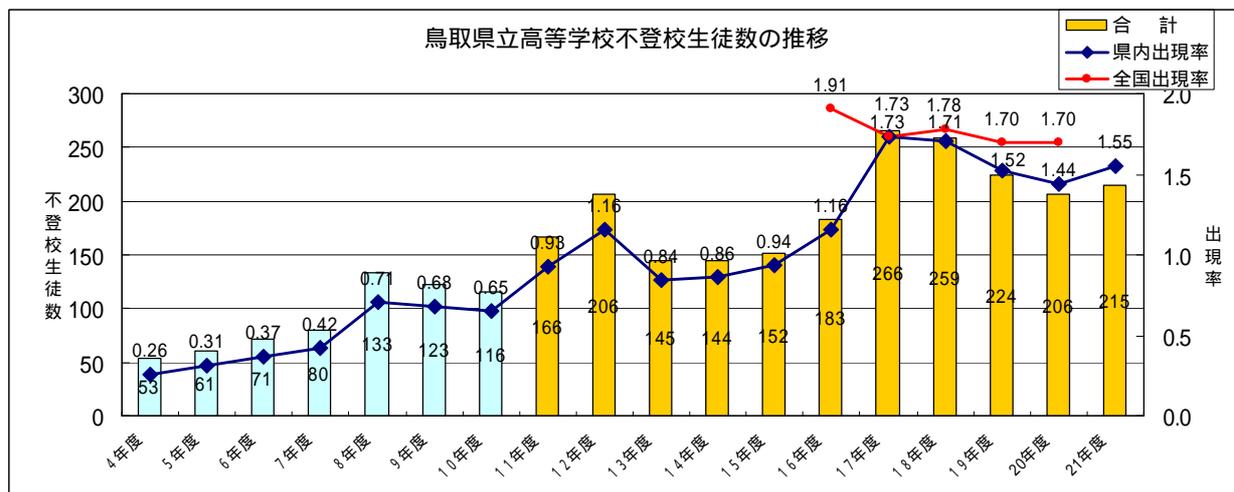
高等学校課

1 不登校生徒の状況

(1) 概況

ア 不登校生徒数の推移

4年ぶりに生徒数・出現率とも増加。

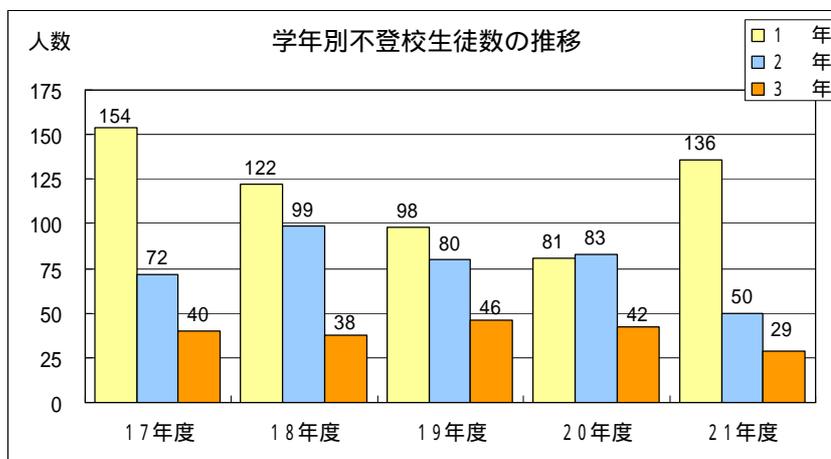


(注) 不登校を理由とする欠席日数の集計。

平成10年度までは年間50日以上、11年度以降は30日以上欠席を対象としている。

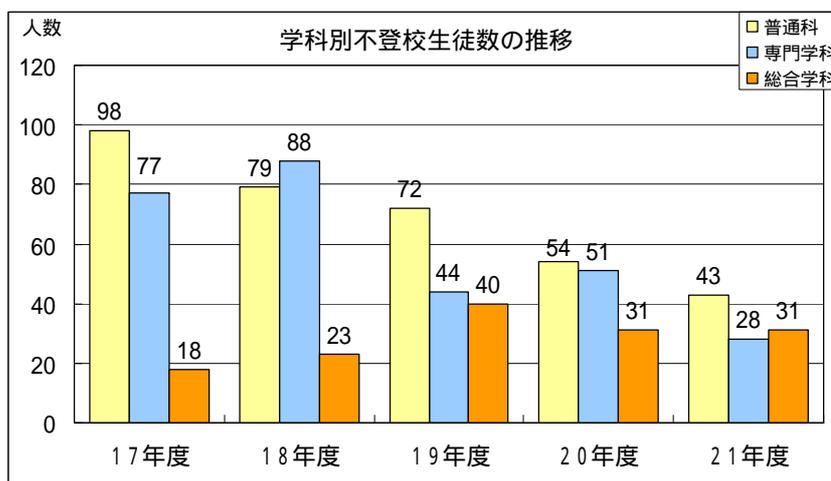
イ 学年別状況

- ・1年生の不登校生徒数が大幅に増加し、全体の不登校生徒数を増加させた。
- ・2・3年生の不登校生徒数は、減少傾向。

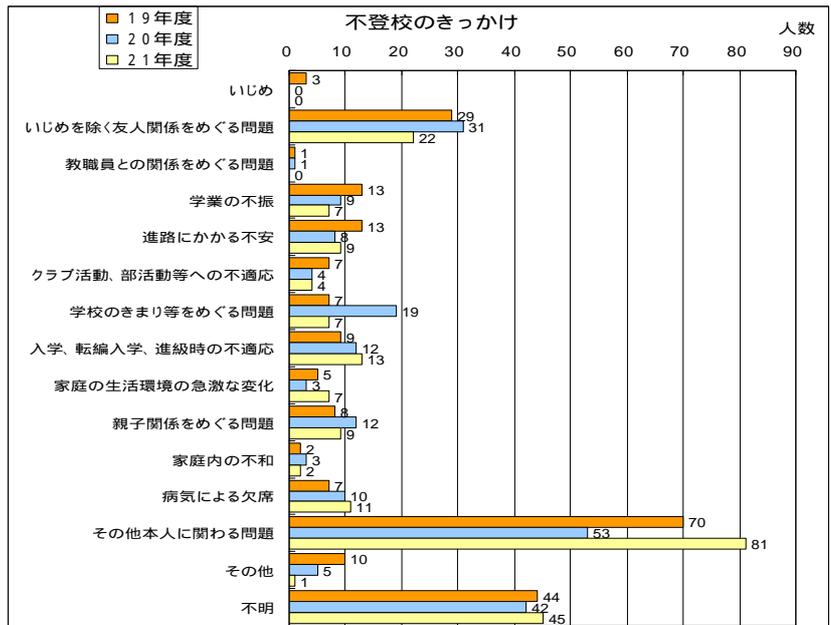


ウ 学科別状況

- ・普通科における不登校生徒数は4年連続して減少。
- ・専門学科における不登校生徒数は、大幅に減少。
- ・学科による不登校生徒数の差は縮小傾向。



- (2) 不登校のきっかけ
- ・本人に関わる問題に起因するものが、最も多く、昨年度より増加。
 - ・いじめに起因する不登校生徒はいなかった。
 - ・友人関係をめぐる問題に起因する不登校は減少。
 - ・要因が複数あるため特定できない、本人が面談を拒否する等のきっかけ不明のものが昨年同様多数。(全体の約2割)



2 分析

- (1) 高校入学後に不登校となった生徒は、全不登校生徒の約5割。特に、総合学科ではその割合が8割となっている。
- (2) 不登校の生徒に対しては、担任、学年主任をはじめ、養護教諭、校内教育相談担当教員、スクールカウンセラー、外部専門機関等が連携して支援しているが、年度末の時点で授業に出席できるようになった生徒は、32名で約15%にとどまった。
- (3) 1年生の不登校生徒数が増加した背景として、入学時の目的意識が希薄で学習意欲が欠如している、入学後に集団生活に適應できない等の生徒の増加が考えられる。
- (4) 昼夜が逆転するなど生活が乱れている、あそび・非行、無気力、意図的拒否など、「その他本人に関わる問題」で不登校となる生徒が増加。背景として、学習内容に興味を持てない、将来についての目標や展望が持てない、友人や家族との関わりが希薄になっていることなどが考えられる。

3 21年度の取組

- (1) スクールカウンセラー・教育相談員の配置
 - ア スクールカウンセラーを全県立高校24校に配置。
 - イ 臨床心理士の資格を有する教育相談員を東中西部各教育局に配置し、各学校を訪問。
- (2) ひきこもり(傾向)の生徒への支援に関する研究調査事業(県教育センター)
 - ア ハートフルユニット(通所指導)
 - イ 中途退学予防としてのQ-U調査を協力校8校で実施。
- (3) ソーシャルスキル育成事業
 - ア 青谷高校、鳥取中央育英高校、米子高校の1年生を対象。
 - イ 鳥取大学の協力を得て、教育相談員と担任とのTTにより各校年3回実施。

4 今後の不登校防止策

- (1) 生徒の状況を把握した上での、タイミングのよい面談やカウンセリング。
- (2) 担任、教育相談担当教員、スクールカウンセラー、関係専門機関等の連携。
- (3) hyper-QU調査等を用いた生徒の状況の客観的な分析。
- (4) 個人情報保護に配慮した上での中学校との連携。

鳥取県立高等学校の不登校生徒数の推移

高等学校課

		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
		人数	%								
在籍生徒数		15,339		15,167		14,732		14,330		13,904	
学年別	1年	154	2.96	122	2.33	98	2.00	81	1.68	136	2.86
	2年	72	1.40	99	1.98	80	1.61	83	1.77	50	1.09
	3年	40	0.80	38	0.77	46	0.95	42	0.87	29	0.64
	4年	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00
合計		266	1.73	259	1.71	224	1.52	206	1.44	215	1.55
男女別	男	121	1.59	109	1.42	89	1.19	100	1.38	108	1.55
	女	145	1.88	150	2.00	135	1.86	106	1.50	107	1.54
課程別	全日制	193	1.31	190	1.30	156	1.10	136	0.98	102	0.76
	定時制	73	13.04	69	12.52	68	12.30	70	13.54	113	22.11
全日制課程別	普通科	98	1.30	79	1.06	72	0.98	54	0.74	43	0.60
	専門学科	77	1.28	88	1.48	44	0.78	51	0.94	28	0.55
	総合学科	18	1.48	23	1.91	40	3.44	31	2.79	31	2.86
退学者数		85		73		77		72		64	
不登校生徒に対する割合(%)		32.0		28.2		34.4		35.0		29.8	
全国の不登校率(公立高等学校)		1.73		1.78		1.70		1.70		未発表	

率(%)はそれぞれの母集団における出現率を表す。

不登校のきっかけ		17年度		18年度		19年度		20年度		21年度	
		人数	%								
学校生活に起因	いじめ	42	15.8	3	1.1	3	1.3	0	0.0	0	0.0
	いじめを除く友人関係をめぐる問題			43	16.0	29	12.9	31	14.6	22	10.4
	教職員との関係をめぐる問題	2	0.8	3	1.1	1	0.4	1	0.5	0	0.0
	学業の不振	15	5.6	6	2.2	13	5.8	9	4.2	7	3.2
	進路にかかる不安	8	3.0	6	2.2	13	5.8	8	3.8	9	4.1
	クラブ活動、部活動等への不適應	1	0.4	5	1.9	7	3.1	4	1.9	4	1.8
	学校のきまり等をめぐる問題	12	4.5	6	2.2	7	3.1	19	9.0	7	3.2
	入学、転編入学、進級時の不適應	20	7.5	17	6.3	9	4.0	12	5.7	13	6.0
	小計	100	37.6	86	32.1	79	35.1	84	39.6	62	28.4
家庭生活に起因	家庭の生活環境の急激な変化	4	1.5	8	3.0	5	2.2	3	1.4	7	3.2
	親子関係をめぐる問題	11	4.1	16	6.0	8	3.6	12	5.7	9	4.1
	家庭内の不和	4	1.5	6	2.2	2	0.9	3	1.4	2	0.9
	小計	19	7.1	30	11.2	15	6.7	18	8.5	18	8.3
本に起因の問題	病気による欠席	15	5.6	21	7.8	7	3.1	10	4.7	11	5.0
	その他本人に関わる問題	100	37.6	99	36.9	70	31.1	53	25.0	81	37.2
	小計	115	43.2	120	44.8	77	34.2	63	29.7	92	42.2
その他		15	5.6	3	1.1	10	4.4	5	2.4	1	0.5
不明		17	6.4	29	10.8	44	19.6	42	19.8	45	20.6
合計		266	100	268	100	225	100	212	100	218	100

(注1) 17年度までは、不登校生徒1人につき、主たるきっかけを1つ選択、18年度以降は、考えられるものをすべて選択。

(注2) %は不登校のきっかけにおける構成比率を表す。